

2022. 6. 1

歴史民俗資料館だより No.144

長崎市歴史民俗資料館

〒852-8117 長崎市平野町7番8号

TEL (095) 847-9245 (FAX 兼用)

<http://www.city.nagasaki.lg.jp/kanko/820000/828000/p009251.html>

戦時中のくらし展

会 期 6月9日(木) ~ 8月21日(日)

展示品 貨幣・紙幣・軍事郵便葉書・手製の教科書・大東亜戦争世界要図・旭日旗寄せ書き・防空頭巾・もんぺなど 約 250 点

昭和 12 (1937) 年の日中戦争勃発以降、第 2 次世界大戦へと向かい、日本は、永い戦時体制へと突入していきました。

そして長崎は、昭和 20 (1945) 年 8 月 9 日に原子爆弾が投下され、約 24 万人の市民の半数以上が死傷するという悲惨な被害を受けました。

その当時、人々は様々な統制を強いられ、「ほしがりません勝つまでは」と質素、儉約のくらしをしなければなりません。日常生活に必要な物も手に入りやすく、代用品や代用食がさかんにつくられました。

現在の豊かな生活と対比し、平和の尊さを考える機会として、このたび当館では「戦時中のくらし展」を開催いたします。

今回の展示に際しまして、貴重な資料をご寄贈、ご提供いただきました関係各位に深く御礼申し上げます。



産着には、昭和 15 年に結ばれた日独伊三国同盟や戦争にちなんだ図柄が描かれています。



手製の教科書

昭和 20 (1945) 年に現物がなく、女学校の学生 (13 歳から 14 歳) が教師となり、小学 6 年生の教科書の挿絵を除き、1 冊 163 頁全てを筆写したものです。



戦時郵便貯金切手
金貳圓 昭和 18 年

戦時貯蓄債券
金拾五圓 昭和 19 年

多額の戦費調達のために、政府は各種国債を発行しました。



大東亜戦争世界要図

独、伊、ソ、米、英各国の主要根拠地が記されています。そして、それらの国への日本軍の攻撃状況が記載されています。昭和 17 (1942) 年頃のもので。



エマル消火弾・陶製防砂袋
昭和 19 年 8 月 11 日に長崎は米軍の B 29 爆撃機で初めて空襲を受けました。そしてこれらの消火器具は各家庭に常備されました。



踏切番と子供達 昭和 18 年

踏切番と国民学校の子供達を通して、戦意高揚をはかっています。



ほうろく

金属製のほうろくは、戦時中に供出されて、このような陶器製に代わりました。蓋の上に「戦勝」の文字が入られています。



旭日旗寄せ書き

出征兵士のために、友人、関係者から武運長久を祈願して、寄せ書きされたものです。



防空頭巾ともんぺ

戦時中、空襲から頭部を保護するための防空頭巾と動きやすいもんぺは欠かせないものとなりました。



軍用手票

戦地、占領地で兵士が通貨の代用として使用した手形です。昭和 15 (1940) 年の 10 円札と昭和 19 (1944) 年の 100 円札です。



昭和 17 年 (1942) 年、福岡県八女中学校鍋島與市教諭により、食用野生植物についての食べ方、薬効が説明されています。

野生食用植物図説集



紙製投砂弾

砂約一升を入れ、本投砂弾を投げれば、理想的に破れ、砂が飛び出しますから、とっさの場合に消火の目的を達します。